



A コマンド

この章では、コマンド名が A で始まる Cisco Nexus 1000V コマンドについて説明します。

aaa authentication login console

コンソール ログインの AAA 認証方式を設定するには、**aaa authentication login console** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login console {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login console {group group-list [none] | local | none}
```

構文の説明

group	認証にサーバ グループを使用するように指定します。
<i>group-list</i>	サーバ グループをスペースで区切って指定します。リストには、次のようなサーバ グループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none">• radius : 設定済みのすべての RADIUS サーバ• tacacs+ : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ• 設定済みの任意の RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのサーバグループ名
none	認証でユーザ名を使用するように指定します。
local	認証にローカル データベースを使用するように指定します。

デフォルト

local

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

group radius、**group tacacs+**、および **group group-list** の各方式は、以前に定義された一連の RADIUS または TACACS+ サーバを指します。ホスト サーバを設定するには、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

デバイスの RADIUS サーバ グループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバ グループを指定すると、ソフトウェアはリストで指定されている順序で各グループをチェックします。

group 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、認証は失敗する可能性があります。**none** 方式を単独または **group** 方式の後ろに指定した場合、認証は常に成功します。

例

次に、コンソール ログインの AAA 認証方式を設定する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# aaa authentication login console group radius
```

次に、デフォルトのコンソール ログインの AAA 認証方式に戻す例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no aaa authentication login console group radius
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa group server	AAA サーバ グループを設定します。
radius-server host	RADIUS サーバを設定します。
show aaa authentication	AAA 認証情報を表示します。
show aaa group	AAA サーバ グループを表示します。
tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。

aaa authentication login default

デフォルト AAA 認証方式を設定するには、**aaa authentication login default** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login default {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login default {group group-list [none] | local | none}
```

構文の説明

group	認証に使用するサーバグループリストを指定します。
<i>group-list</i>	サーバグループをスペースで区切って指定します。リストには、次のようなサーバグループを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • radius : 設定済みのすべての RADIUS サーバ • tacacs+ : 設定済みのすべての TACACS+ サーバ • 設定済みの任意の RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのサーバグループ名
none	(任意) 認証にユーザ名を使用するように指定します。
local	認証にローカル データベースを使用するように指定します。

デフォルト

local

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

group radius、**group tacacs+**、および **group group-list** の各方式は、以前に定義された一連の RADIUS または TACACS+ サーバを指します。ホスト サーバを設定するには、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用します。サーバのネームドグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

デバイスの RADIUS サーバグループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバグループを指定すると、ソフトウェアはリストで指定されている順序で各グループをチェックします。

group 方式または **local** 方式を指定した場合にその方式が失敗すると、認証は失敗します。**none** 方式を単独または **group** 方式の後ろに指定した場合、認証は常に成功します。

例

次に、コンソール ログインの AAA 認証方式を設定する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# aaa authentication login default group radius
```

次に、デフォルトのコンソール ログインの AAA 認証方式に戻す例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no aaa authentication login default group radius
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa group server	AAA サーバ グループを設定します。
radius-server host	RADIUS サーバを設定します。
show aaa authentication	AAA 認証情報を表示します。
show aaa group	AAA サーバ グループを表示します。
tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。

aaa authentication login error-enable

コンソールに AAA 認証失敗メッセージを表示するように設定するには、**aaa authentication login error-enable** コマンドを使用します。エラーメッセージを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa authentication login error-enable

no aaa authentication login error-enable

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ユーザがログインしたときにどのリモート AAA サーバも応答しない場合、認証はローカルユーザデータベースによって処理されます。表示をイネーブルにしてある場合は、次のいずれかのメッセージがユーザに対して生成されます。

```
Remote AAA servers unreachable; local authentication done.  
Remote AAA servers unreachable; local authentication failed.
```

例

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t  
n1000v(config)# aaa authentication login error-enable
```

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t  
n1000v(config)# no aaa authentication login error-enable
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa authentication login error-enable	AAA 認証失敗メッセージ表示のステータスを表示します。

aaa authentication login mschap

ログイン時に Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (MSCHAP; マイクロソフト チャレンジ ハンドシェーク 認証プロトコル) 認証をイネーブルにするには、**aaa authentication login mschap** コマンドを使用します。MSCHAP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa authentication login mschap

no aaa authentication login mschap

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、MSCHAP 認証をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# aaa authentication login mschap
```

次に、MSCHAP 認証をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no aaa authentication login mschap
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa authentication login mschap	MSCHAP 認証のステータスを表示します。

aaa group server radius

RADIUS サーバ グループを作成するには、**aaa group server radius** コマンドを使用します。RADIUS サーバ グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa group server radius *group-name*

no aaa group server radius *group-name*

構文の説明

<i>group-name</i>	RADIUS サーバ グループ名。名前には英数字を使用します。大文字と小文字が区別され、最大で 64 文字の長さまで指定可能です。
-------------------	---

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、RADIUS サーバ グループを作成し、指定したサーバ グループを設定するために RADIUS サーバ コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# aaa group server radius RadServer
n1000v(config-radius)#
```

次に、RADIUS サーバ グループを削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no aaa group server radius RadServer
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aaa groups	サーバ グループ情報を表示します。
radius-server host	RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名を定義します。

aaa group server tacacs+

TACACS+ サーバグループを作成するには、**aaa group server tacacs+** コマンドを使用します。
TACACS+ サーバグループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa group server tacacs+ group-name

no aaa group server tacacs+ group-name

構文の説明	group-name	TACACS+ サーバグループ名。名前には英数字を使用します。大文字と小文字が区別され、最大で 64 文字の長さまで指定可能です。
-------	------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション (config)
---------	----------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	TACACS+ を設定する前に、 tacacs+ enable コマンドを使用して TACACS+ をイネーブルにする必要があります。
------------	--

例	次に、TACACS+ サーバグループを作成する例を示します。
---	--------------------------------

```
n1000v# config t
n1000v(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
n1000v(config-radius)#
```

次に、TACACS+ サーバグループを削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no aaa group server tacacs+ TacServer
```

関連コマンド	コマンド	説明
	tacacs+ enable	TACACS+ をイネーブルにします。
	show aaa groups	サーバグループ情報を表示します。

assign port-profile-role

特定のポート プロファイルに、ポート プロファイルのロールを割り当てるには、**assign port-profile-role** コマンドを使用します。プロファイルからロールを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

assign port-profile-role *port-profile-role-name*

no assign port-profile-role *port-profile-role-name*

構文の説明

port-profile-role-name ポート プロファイルのロールの名前です。

デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-profile)

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)SV1(4)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

例

次に、特定のポート プロファイルに、ポート プロファイルのロールを割り当てる例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# port-profile allaccess2
n1000v(config-port-prof)# assign port-profile-role adminUser
```

次に、ポート プロファイル設定からロールを削除する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# port-profile allaccess2
n1000v(config-port-prof)# no assign port-profile-role adminUser
```

関連コマンド

コマンド	説明
port-profile	ポート プロファイルを作成します。
show port-profile-role	ロール名、説明、割り当てられたユーザ、および割り当てられたグループなど、ポート プロファイルのロール設定を表示します。
show port-profile-role users	使用可能なユーザおよびグループを表示します。

コマンド	説明
show port-profile	ポート プロファイルに割り当てられたロールを含むポート プロファイル設定を表示します。
port-profile-role	ポート プロファイルのロールを作成します。
user	ポート プロファイルのロールにユーザを割り当てます。
group	ポート プロファイルのロールにグループを割り当てます。
feature port-profile-role	ポート プロファイルのロールの制限のサポートをイネーブルにします。
port-profile	ポート プロファイルを作成します。

attach module

アクティブな Virtual Supervisor Module (VSM) からスタンバイ VSM コンソールにアクセスするには、**attach module** コマンドを使用します。

attach module *module-number*

構文の説明

module-number 既存のモジュールを識別する番号を指定します。範囲は、1 ~ 66 です。
(注) 動作する値は 2 だけです。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、セカンダリ VSM のコンソールに接続する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# attach module 2
n1000v#
```

使用上のガイドライン

モジュール番号の有効な範囲は 1 ~ 66 ですが、動作する値は 2 だけです。

関連コマンド

コマンド	説明
show cores	コアのリストを表示します。
show processes log	プロセス ログのリストを表示します。
show system redundancy status	冗長性ステータスをチェックします。
show system internal sysmgr state	システム内部の sysmgr 状態をチェックします。
reload module	モジュールをリロードします。